

宣言の背景・趣旨について

1 宣言の背景について

(1) 超高齢社会の進展

江別市の高齢者人口は増加を続け、平成28年9月末現在の高齢化率は28.2%であり、平成47年には高齢者人口がピークとなって、高齢化率も39.2%になると推測されています。

(2) 2025年問題

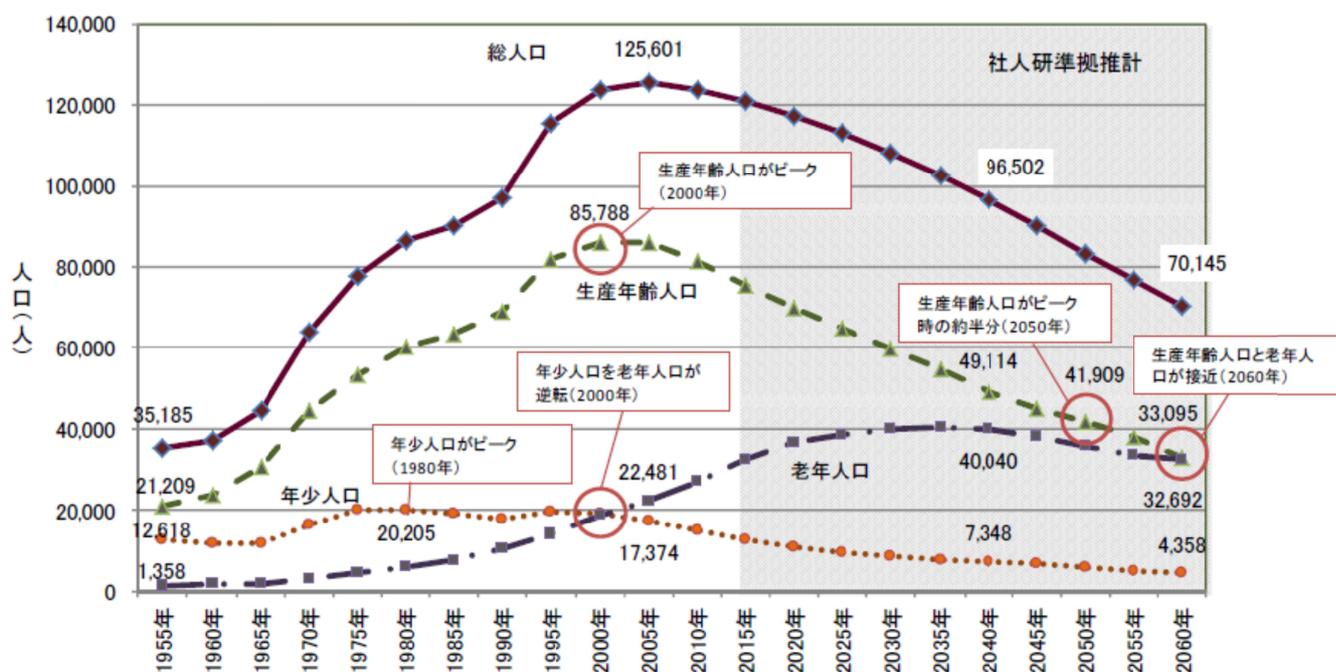
平成37年度には、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護などの社会保障費の急増が懸念される問題であります。市高齢者総合計画によると、平成37年度は高齢化率が34.6%、後期高齢者の比率(19.2%)が前期高齢者の比率(15.4%)を上回ると推計されています。

(3) 平均寿命と健康寿命の差縮小

平均寿命が伸びても医療や介護サービスを必要とする期間が増えてきているため、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」を延ばし、平均寿命との差を縮めなければなりません。

<江別市の現状>

○江別市の年齢3区分人口の推移（江別市人口ビジョンより）



○江別市の平均寿命・健康寿命について（国保データベースシステムより）

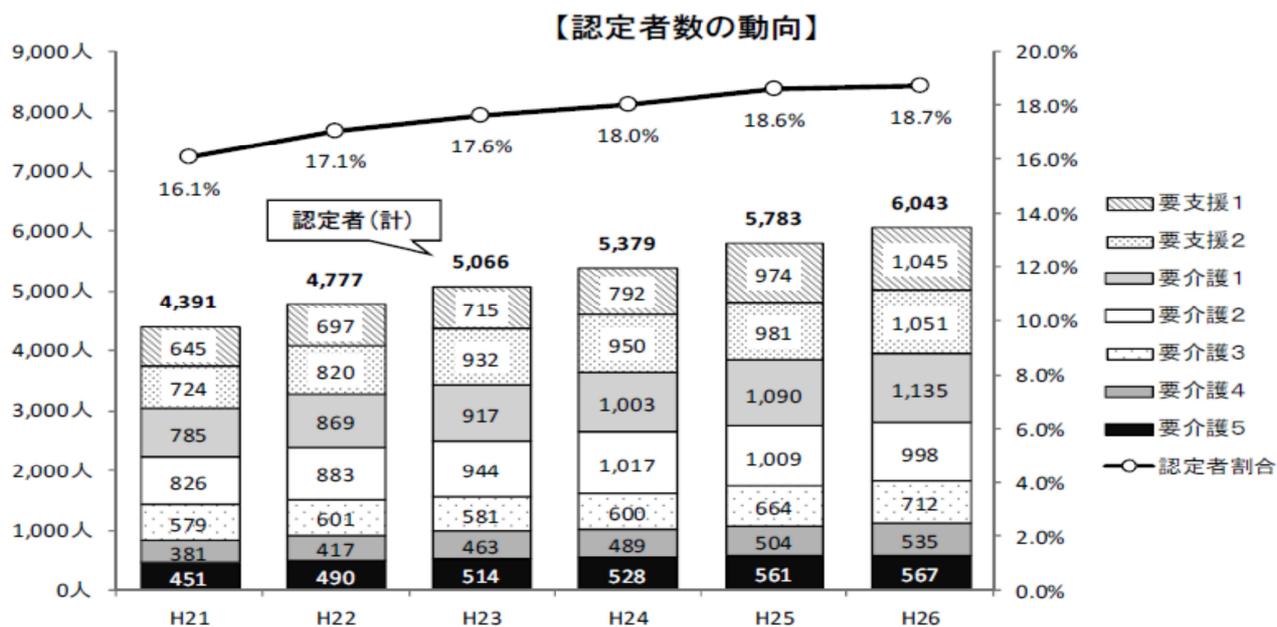
	平均寿命	健康寿命
男性	80.4歳	65.4歳
女性	86.9歳	66.9歳

※平均寿命・健康寿命とは・・・

0歳の人が平均してあと何年生きられるのかを表しているのが「平均寿命」であるのに対し、日常生活に支障がなく過ごせる期間の平均を表しているのが「健康寿命」であります。

なお、国保連合会が提供する国保データベースシステムにおいて、介護認定が要支援以上の認定者を基に算出した健康寿命を、市の健康寿命として用いており、厚生労働省が発表している入院・施設入所者以外の人を対象として自己申告により実施した調査を基に算出した方法とは異なります。

○介護認定者数の動向（市高齢者総合計画より）



2 宣言の趣旨について

市民の誰もが元気で健やかに楽しく毎日が送れるよう健康寿命の延伸を図り、生活の質を高めながら、心豊かに生活できる環境づくりを目指さなければなりません。そのためには、日頃から健康を意識し、健(検)診の受診、食生活の改善、運動習慣の定着など健康づくりに取り組んでいただきたいと思います。

「健康都市宣言」を行うことによって、全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるよう健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、えべつ未来づくりビジョンの基本目標である「誰もが健康的に安心して暮らせるえべつ」を目指すものであります。